

2017-18年度ライオン誌日本語版委員会 第6回会議 報告書

日 時：2018年1月12日(金) 13:30～16:40

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：委員長 佐々木忠康 (331複合地区／北海道・小樽ライオンズ[㊤])
編集長 矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズ[㊤])
委員 久津間康允 (330複合地区／神奈川県・小田原白梅ライオンズ[㊤])
委員 稲岡 敬弘 (332複合地区／秋田ライオンズ[㊤])
委員 渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズ[㊤])
委員 西川 恒彦 (334複合地区／静岡県・富士宮ライオンズ[㊤])
委員 神 崎 守 (335複合地区／京都やわたライオンズ[㊤])
委員 小柴 登司 (337複合地区／沖縄県・浦添ウエスト ライオンズ[㊤])
一般社団法人専務理事 井 出 孝 (神奈川県・平塚ライオンズ[㊤])
ITアドバイザー 荘 英 隆 (東京恵比寿ライオンズ[㊤])
欠席者：国際理事 中村 泰久 (埼玉県・大宮北ライオンズ[㊤])
国際理事 佐藤 義雄 (長野県・戸倉上山田ライオンズ[㊤])
ITアドバイザー 辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズ[㊤])



佐々木委員長の開会あいさつに続いて、佐々木委員長、矢野編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版委員会規程

昨年11月1日開催の第4回会議において、各委員から出ていた修正案を一般社団法人日本ライオンズ理事会に提出し、他の規約等との整合性について検討して頂くことになっていた。その後、12月7日に開催された理事会において池田和司法律顧問の意見を入れながら、ライオン誌委員会で最終案をまとめることになり、該当項目について検討した上で、ライオン誌日本語版委員会規程の改正案をまとめた。今後、理事会で承認を得られれば、規程に従って各複合地区ガバナー協議会議長に改選案の同意を求めることになる。

2. ライオン誌日本語版の運営 (別紙-月次決算報告)

11月度の収支計算書を基に会計担当者から説明があった。11月は頒布品収入がやや少なめだったのと、デジタル版関連費で動画編集用の初期支出が若干あった以外は、収支ともほぼ例月通りで、月次では約40万円、累計では2,375,456円の収支差額が出ている。

- 前回会議で作成した次年度以降の年間予算シミュレーションは12月7日に開催された一般社団法人日本ライオンズの理事会に佐々木委員長、矢野編集長が出席し説明したことが報告された

3. 本誌関係

- 2018年1-2月号 (2017年12月20日見本／93,600部発行) 出来
前回委員会で、表紙に月号を分かりやすい形で表示させる提案があり、デザインを見直し、

校了日の12月7日に委員長、編集長が一般社団法人理事会出席で事務所に見えた際に確認して頂いた上で変更した。また「READERS ROOM」の内容も一部変更し、読者会員へ投稿や情報提供を呼び掛け、積極的に誌面作りに参加してもらう形にした。

神崎委員から、特集の原稿が同じような流れになっており、掲載点数も多いため途中で読み飽きてしまう心配があるとの指摘があった。今回の特集では、取材も含めメインとなる記事を設けず、八複合地区一つずつ掲載する配慮をし、また海外の事例も紹介しようとしたため、短い記事が連なる形になった。今後、掲載のバランスには一定の配慮をするものの、内容や文体、レイアウトにメリハリを付けるよう工夫する。

この号から本誌の印刷が共同印刷(株)に変わり、これまでの凸版印刷(株)と比べ1号当たりの印刷費が約25万円削減された。

●2018年34月号台割案

本誌34月号特集は佐々木委員長と神崎委員から提案があった、グローバル奉仕フレームワークの一つ「視力」を取り上げ、視覚障害者の行動訓練を始めとした支援活動を中心に取材する他、特徴的なクラブの活動も紹介する。また、この号も1-2月号と同様、カバーストーリーとして表紙も特集企画と同じ視力関連事業で組む。「国際理事だより：中村泰久国際理事」、「編集室：佐々木忠康委員長」。ウェブマガジン1月号と2月号の「奉仕活動」で取材したアクティビティを一部抜粋して、この号から「SCENE」と「クラブ・リポート」に掲載する。アガワル国際会長公式訪問は、会長のスピーチを中心に掲載することとし3ページで紹介、アガワル国際会長も出席したOSEAL調整事務所の開所式に関してはその後の1ページで取り上げる。

LCIフォワードの情報を広めるために、各国語版ライオン誌で1ページの記事を随時翻訳・掲載が可能かどうかの問い合わせが国際協会からあった。検討の上これを承認した。

4. ウェブマガジン関係

●2018年1月号（1月1日更新）出来

1月1日から公開を始めた新しいウェブマガジンの出来について各委員が意見を出し合った。トップページのメインにある動画は、8分以上のビデオマガジンになっており、クリックして最後まで見てしまうとかなり時間を使うことになるとの指摘があり、2月号以降、トップページの表示の仕方を工夫する。この他、ウェブマガジンを印刷して利用出来るデータのダウンロードやサイト内検索を設けることが提案され、次号以降での実装を検討する。

●フォーム機能デザイン変更

ウェブマガジンのリニューアルに伴い、これまで使用していた「ライオン誌出版物注文」と「読者プレゼント応募」のフォーム・デザインを、新しいサイト・イメージに合わせるためのフォーム機能修正の見積が提出され、検討の結果承認された。

●アクティビティ投稿フォーム作成

クラブのアクティビティを積極的に投稿してもらえるようにしたいとの矢野編集長の方針の下、投稿フォーム作成の見積が提出され、検討の結果、当面会員認証機能は除いてプログラムを組むことが承認された。これに伴い、現在Wordpressで構築中の新サイトに投稿フォームのページと投稿された原稿の掲載ページを追加することになり、その制作見積についても検討の上、承認した。

また、投稿を受け付けるに当たって、投稿資格や著作権、肖像権・プライバシーなどの問

題をクリアするための「投稿規定」を設けることになり、その内容を検討した。

●2018年2月号以降台割案

ウェブマガジン2月号から4月号までの主要コンテンツについて、内容と取材経費が提出され、承認された。なお、1月号では取材対象が決まらず掲載のなかった「フォーカス」(活動的な会員や活発なクラブを紹介)について、サンプルが提出され承認された。同コンテンツは今後、各委員が情報を持ち寄り、場合によっては委員自身が取材に当たる。

5. 2017-18年度主要記事予定

ウェブマガジン2月号以降及び本誌34月号以降の主要記事予定と、1月初旬から3月初旬までの取材経費概算が提出され、検討の上これを承認した。

6. その他

- ウェブ会議用のパソコン購入について、前回会議で新規購入の前にウェブ会議に対応するOSへのアップグレードを試みることになり実行した結果、使用出来なくなったソフトもあったが、主要アプリケーションは使用可能な状態であるため、新規購入は見送ることにした。また、小柴委員から指摘のあった編集用パソコンについて見積を取り検討した。既に購入から6年以上経過しているが、レイアウト・ソフト等、現在使用している編集用ソフトの動作に若干不安があるため、実際に不調なパソコン1台のみ先行で買い換えをすることとし、他の2台についてはソフトの互換性を確認した上で再検討する。
- 昭和33年に取得した『ライオン誌』の第三種郵便物認可について、一般社団法人化による発行人の変更承認が必要となり、変更をした場合30,860円の費用が発生する。一方、送料が関係する個人発送は、発送業務を委託している会社で扱っている郵便物の量に応じた割引料金が適用されていることから、第三種の料金よりも安価で発送出来ている。これらを勘案し、第三種郵便物の廃止手続きを行うことを承認した。
- ライオン誌サポーターによるアンケートの結果が報告された。今後、隔月の本誌発行に合わせてアンケートを実施し、ウェブマガジンについての質問項目を追加する。

閉会あいさつ 佐々木忠康委員長

【次回以降委員会開催予定】

2月7日(水)	13:30~16:00	第7回会議	日本ライオンズ事務所
3月7日(水)	13:30~16:00	第8回会議	日本ライオンズ事務所※仮

ライオン誌日本語版
2017-18年度収支計算書

2017年11月

(収入の部)

科 目	予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高
項 目				
購読料収入	104,775,000	9,449,882	47,256,459	57,518,541
国際協会補助金	48,825,000	4,905,582	24,527,909	24,297,091
会費	55,800,000	4,544,300	22,721,500	33,078,500
翻訳料補助金	150,000		7,050	142,950
ライオン誌送料	37,000,000	4,151,243	20,756,215	16,243,785
広告料収入			85,536	△ 85,536
その他収入	1,450,000	21,819	770,787	679,213
頒布品収支差額	1,000,000	19,869	247,399	752,601
受取利息				
雑収入	450,000	1,950	523,388	△ 73,388
特別収入				
合 計	143,225,000	13,622,944	68,868,997	74,356,003

(支 出 の 部)

科 目	予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	
項 目					
直 接 出 版 費	79,700,000	8,875,583	44,525,868	35,174,132	
印 刷 費	25,000,000	2,797,496	13,918,516	11,081,484	注1
発 送 事 務 費	10,250,000	1,094,821	5,461,855	4,788,145	注2
ライオン誌送料	37,000,000	4,211,699	20,953,589	16,046,411	注3
旅 費 交 通 費	3,500,000	390,194	2,202,402	1,297,598	
編 集 関 係 諸 費	200,000	24,973	169,066	30,934	
原 稿 料 ・ 編 集 費	3,750,000	356,400	1,820,440	1,929,560	
広 告 関 係 諸 費					
そ の 他					
テ レ ビ シ ャ ー タ ル 版 関 連 費	9,600,000	149,564	724,294	8,936,144	
旅 費 交 通 費	2,000,000	63,856	63,856	1,936,144	
原 稿 料 ・ 編 集 費	7,000,000			7,000,000	
サ ー バ ー 使 用 費	600,000	69,768	348,840		
そ の 他		15,940	311,598	△ 311,598	動画編集PC用セキュリティアソフト、USBメモリー
委 員 会 費	4,650,000	309,643	1,394,682	3,255,318	
旅 費 交 通 費	4,500,000	306,120	1,384,330	3,115,670	
会 議 費					
統 合 関 連 費					
雑 費	150,000	3,523	10,352	139,648	
事 務 費	48,815,000	3,887,853	19,848,697	28,966,303	
人 件 費	30,000,000	2,498,169	12,490,845	17,509,155	
福 利 厚 生 費	5,150,000	386,415	1,841,525	3,308,475	
旅 費 交 通 費	1,250,000	103,568	518,770	731,230	
通 信 費	1,350,000	68,042	574,106	775,894	
事 務 用 品 費	600,000	26,521	280,630	319,370	
図 書 費			1,836	△ 1,836	
備 品 ・ 消 耗 品 費	50,000	7,296	29,318	20,682	
I T 関 連 費	1,800,000	111,888	667,440	1,132,560	
支 払 手 数 料	65,000	3,510	21,106	43,894	
保 守 ・ 修 繕 費					
借 室 料	7,500,000	624,056	3,120,280	4,379,720	
水 道 光 熱 料	400,000	29,768	158,186	241,814	
租 税 公 課	50,000			50,000	
減 価 償 却 費	250,000			250,000	
雑 費	350,000	28,620	144,655	205,345	
固 定 資 産 廃 棄 損					
(収 入) - (支 出)	460,000			460,000	
当 期 収 支 差 額 金		400,301	2,375,456	△ 2,375,456	
合 計	143,225,000	13,473,380	40,927,798	102,297,202	

注1 12月号93,500部発行。@27.71

注2 12月号発送手数 個人発送(1978クラブ・60,098冊)679,708円

クラブ発送(1072クラブ・32,164冊)320,700円

12月号掲載誌、有料誌、PR誌送料送料及び発送手数料他、944,413円

注3 11月号送料：個人発送@62×60,098人=3,726,076円、クラブ発送(1072件)485,623円